

## ベトナムで「大枚をはたく」

3月中旬、ベトナムのホーチミン市へ旅行に行ってきた。きっかけは、テレビ番組などでベトナムの雑貨類が非常に魅力的なのを知り、ぜひ現地に行って購入したいと思ったことで、ホテルもそうした土産屋が並ぶ「ドンコイ通り」近くに決めてしまったほどです。

ベトナムの季節は「雨期」と「乾期」に分かれており、3月は後者に属するため雨はほとんど降らないのですが、南部のホーチミンはとにかく暑い！日本との気温差は20度ほどあり湿度も高く、連日35度を越す猛暑に慣れるのが大変でした。

…が、それよりもっと苦労したのが「お金」です。ベトナムの通貨「ドン」は、1円に対し約0.045なので、一番よく流通している1万ドンは、約45円。1万円を両替すると大体220万ドンになり、札束がドサッと渡されると、何だか突然大金持ちになったみたいな錯覚をおぼえます。変な例えかもしれませんが、初めて「1円パチンコ」で玉を借りたとき妙に沢山あるのに感激した、あんな感じでしょうか（笑）。

そんな、リッチな気分を味わったのも最初だけ。単位が大き過ぎるため、初日にはベッドメイキング用チップを相場（1万ドン）の10倍も置いてしまったり、お店などでお金を払う際に戸惑って相手を長時間待たせてしまったり、失敗続きです。さらに私を混乱させたのが、現地ではコインの流通がなくなってしまったことで、お釣りが細かいと切り捨てられるのが当たり前。日本円にすれば1円前後程度でも数百、数千ドンという数字を見ると、すごく損した気持ちになってしまいました。

しかし苦勞をいろいろ味わった一方で、大きな目的であった魅力的な雑貨の買い物は、しっかりと済ませることができました。アジアンテイスト溢れるビーズ細工の財布やポーチも沢山あって迷うのですが、特に女性に人気のお土産がハンドメイドのカラフルな「カゴバッグ」です。聞いたところでは、元々地元の方々が日常的に荷物の搬送に使っていたバッグを、日本人観光客のアイデアで模様付きにしたところ、大人気土産になったとか。編み方や模様も様々で、見て歩くだけでも楽しめます。

そして意外に喜ばれたお土産が「切手」です。ホーチミンでは中央郵便局が観光スポットになっていて、地元の切手シートが沢山売られています。一番人気はホー・チ・ミン氏の肖像やベトナム戦争の様子が描かれたもので、そうした歴史に思いを馳せつつ、自分の分を含めていろいろと購入してしまいました。

これらはまさに「大枚をはたいた」お土産探しとなりましたが、ショッピングの醍醐味を充分味わうことができました。次回は食事や観光などについて、紹介する予定です。



中央郵便局にて。後方にホー・チ・ミン氏の大きな肖像画が掲げられている